

ジョージア州アトランタ市から南方へ車で約 3 時間の距離に第 39 代大統領ジミー・カーター氏の生まれ故郷 **Plains** があります。人口 700 人弱の小さな市ですが、現在、国立歴史地区に指定されています。位置的にアトランタ市のほぼ真下になるので、アトランタ市からの行き方としては、**I-75** や **I-85** の高速を利用する方法と、一般道でひたすら南下する方法があります。

さて、**I-85** を利用した場合についてお知らせしますと、**I-85** を南下し、**I-185** 経由で一般道に入ってから 1 時間程度南東に進むと **Plains** に差し掛かります。そこでは、市境を表す看板がピーナツと一緒に迎えてくれ（写真）、道中、道路を挟むように広がる綿畑は、車窓からの長閑な風景を演出するとともに、米国南部の歴史を感じさせてくれます。



Plains に入ると、非常に穏やかでゆっくりとした時間が流れています。訪れたのが平日昼時だったせいか、人工的な音が競合しない、自然を感じることができる贅沢な空間が広がっていました。ダウントウンでは、お決まりの地名入りウォーター・タワー（給水塔：写真）の他、いくつかの店が建ち並び（**Business District**：写真）、



カーター元大統領の選挙本部となった鉄道駅（**Plains Depot**：写真）も保存されています。そこから北へ車で 1 分も行かない距離に、カーター夫妻も通った **Plains High School** があり、現在はビジター・センター及び博物館として利用されて



います。ここでは、カーター元大統領の経歴や活動、そして生い立ち等について知ることができます。そしてさらに北へ進むと、**Maranatha Baptist Church**（写真）という教会があり、カーター氏が自宅に滞在する際は、日曜学校で教えること



もあるとのこと。す。（カーター元大統領による日曜学校のスケジュールは、教会のウェブサイトで確認できます。

<http://www.mbcplains.org/>)

カーター元大統領の自宅は、**Plains** の中心から少し西へ行ったところにありますが（一般非公開）、そこから更に西へ進むと、カーター元大統領が 4 歳から大学進学のため **Plains** を離れる 1941 年まで過ごした農場

（**Jimmy Carter Boyhood Farm**）があります。この農場は、当時の自宅やトイレ、納屋、鍛冶屋等が 1938 年に電気が引かれる前の状態に復元されており、カーター元大統領の少年期の生活が垣間見れるとともに、この場所で大国アメリカの大統領が育ったのかという感慨深い気持ちに浸りつつ、何か自分もその一部になった



ような不思議な気分になります。農場の入口には、農場内の遊歩道を整備した際、最後の仕上げとして地面に付けられたカーター元大統領の手形が日付とともに残されています。

（写真：奥に見えるのがカーター元大統領が子供の頃暮らしていた家屋です。）

最後に、今回昼食をとった **Business District** 付近にあるレストラン（写真）は、南部の雰囲気をそのままに、ハンバーガー等の他フライドグリーントマトをはじめとした南部料理（品数は少ない）も楽しめますので、試してみても如何でしょうか。



Plains 中心部からメイン・ロードである 280 号線を東方に約 0.3 マイル進んだところに **State Welcome Center** があるので、そこで情報収集を行った後、**Plains** を訪れるのがよいでしょう。